

血液内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00
- (2) 集合場所 A病棟2階カンファレンスルームさくら
(ただし、初日が火曜日の場合は8:30にC病棟8階スタッフステーション集合)
(※抄読会・レクチャーをオンラインで実施の場合)
- (1) 集合時間 11:00
- (2) 集合場所 みらい棟3階資料室

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。ただし5年生よりはより専門的な事柄の理解ができることを目標にする。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、支持された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて受け持ち患者さんの病態や治療方針について理解する。

月～金曜日の朝カンファレンスにおいて、主治医とともに準主治医として所属グループの患者さんについて検査や治療方針について議論に参加し、確認する。その後のグループの回診に同行し、毎日患者を診察、POS方式により診療録に記載をする。またその日の夕方にその日にしたこと、また疑問などを主治医・指導医に報告、質問をする。これらのことを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける。

採血、骨髄穿刺、生検、腰椎穿刺、中心静脈ルート穿刺などの検査・手技が行われる場合には、患者への説明同意にも可能な限り参加し、実技を見学し、適応や危険性などについて理解する。また、大学の方針に基づき実技を行う。

チームの一員として薬剤師、看護師とコミュニケーションをとり、その能力についても身につけるように努力する。

3 GIO（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を取得する。

1. 血液疾患・腫瘍患者の診察およびその留意点
2. 血液疾患の診断と治療の考えかたとその実際

4 SB0（到達目標）

- (1) 問診、身体所見、検査所見などから総合的な診断を行うことが出来る。
- (2) 病歴徴収を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し、適応や所見の解釈ができる。

- (4) 末梢・骨髄血液標本から得られる異常所見を理解する。
- (5) 標準的治療法を理解し、適応について判断することができる。

5 スケジュール

8：30～9：30 朝カンファレンス、の後のグループ回診

(月曜日のみ、8時にA病棟2階カンファレンスルームさくらに集合)

〈1週目〉

月：午前 抄読会，オリエンテーション
午後 回診・入院患者カンファレンス(月初めは骨髄移植カンファレンス)
火：午前/午後 病棟実習
水：午前/午後 病棟実習
木：午前/午後 病棟実習
金：午前/午後 病棟実習

〈2-4週目〉

月：午前 抄読会，病棟実習
午後 回診・入院患者カンファレンス
火：午前/午後 病棟実習
水：午前/午後 病棟実習
木：午前/午後 病棟実習
金：午前 病棟実習 最終週午後 総括・評価

(担当教員や実習内容については、担当グループ毎に初日に説明する)

(※レクチャーをオンラインで実施の場合は、朝レクチャーの後11前後に病院集合)

基本的には5年生と同様ですが、希望により画像や骨髄標本などの検鏡の時間を入れることは可能です。また国家試験の対策の相談にも乗ることが出来ます。

一度は血液内科の国家試験対策のレクチャーを実施します。

外来実習を希望すれば申し出てください。可能な限り対応します。また他にも希望があれば、前もって相談してください。可能な限り希望に沿うようにしたいと思います。

6 評価法

診療記録，プレゼンテーション，口頭試問，出席状況，実習態度などを総合的に評価する。

7 その他注意事項等

服装，マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

個人情報に記載されているものは持ち歩かないでください。

病棟のコピー機は業務用ですので私用しないでください。

病棟にある書籍は無断で借用しないでください。借用した場合は必ず返却してくだ

さい。

臨床実習の目的は、座学では得られない診療技術とそれを通じた考え方を身につける事です。担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は、積極的に申し出て下さい。

国試対策とは異なり、皆さんの将来の医師としての能力を磨く場です。症例を通じて、知識・技能を点から線、線から面に広げて行ってください。